

会 議 録

- 1 名 称 新折尾駅周辺整備検討会（第7回【平成29年度 第1回】）
- 2 会議種別 市政運営上の会合
- 3 議 題 1) 新駅舎の設計について
2) 駅前広場のレイアウト（案）について
- 4 開催日時 平成30年 3月26日（月）
10時00分 ～ 12時00分
- 5 開催場所 建築都市局折尾総合整備事務所 大会議室
（北九州市八幡西区北鷹見町13番10号 オリオンプラザ2階）

6 出席者氏名

■構成員（敬称略）（50音順）

北九州市立大学	建築デザイン学科	教授	赤川 貴雄
西日本工業大学	情報デザイン学科	講師	内田 恵里子
株式会社	洋建築計画事務所	代表取締役	城水 悦子
北九州市立大学	建築デザイン学科	教授	津田 恵吾
行橋市	人権政策課	相談員	野川 みゆき
九州労災病院	門司メディカルセンター	院長	蜂須賀 研二

■JR九州関係者（敬称略）

九州旅客鉄道株式会社	施設部設備課	新田 祐史
------------	--------	-------

■設計コンサルタント関係（敬称略）

株式会社アービカルネット	代表取締役	新田 裕司
〃		尾辻 信宣

■事務局

折尾総合整備事務所	所長	藤田 和也
//	計画課長	廣中 忠孝
//	まちづくり支援担当課長	濱田 孝洋
//	区画整理事業課長	福田 訓己
//	工事課長	井上 和広
//	計画課 事業調整係長	一田 剛
//	計画課 まちづくり支援担当係長	進藤 健治
//	計画課 開発担当係長	有田 隼人
//	工事課 工事係長	帆士 政夫
//	工事課 連立・区画工事担当係長	池田 秀昭
//	計画課 事業調整係 主査	三牧 寛
//	計画課 事業調整係 主任	高巢 孝輔
//	計画課 開発担当係 主任	佐藤 晴美

7 非公開の理由

北九州市情報公開条例第7条該当

- ・ 検討段階における未確定情報を含むものであり、地元住民等、市民の間に誤解や混乱を生じさせないため。

8 議事概要

(1) 新駅舎の設計について（事務局からの報告）

- ・ 新駅舎のデザインの JR 九州との協議結果について
- ・ 旧駅舎解体前の平成24年10月に「新折尾駅舎のデザイン案」として考えをまとめた「折尾駅舎の保全・活用に向けた基本的な考え方」は、
 - ① 構造や部材等の調査を行い、歴史資料とともに記録を整理・保存する。
 - ② 大正5年当時の駅舎の外観については、可能な限り再現する。
 - ③ 駅舎のシンボリックな部材については、保存・復元を基本とする。となっている。
- ・ 大正期の旧駅舎の竣工図面が残されていないため、当時の状態を完全に捉えられないが、調査や史料から得られた結果等から考察を行い、復元図面を作成した。解体直前の昭和期のデザインと比べると、大正期の方が縦線を強調している。
- ・ 新駅舎は鹿児島本線と筑豊本線が交差する地点に、北口駅前広場の方向を向いて建設される。改札は1ヶ所に集約される。
- ・ デザインは、2階建てであるが、構造的には平屋建てで大きな屋根裏空間があるようなイメージである。屋根はガルバリウム、外壁はガラス繊維補強セメント（GRC）と軽量気泡コンクリート（ALC）を採用する。棟飾りの復元、煙突デザインの再現も行う。

- ・改札外コンコースには、シンボル部材である円形ベンチと化粧柱を設置する。
- ・ホームへは、エレベーター、エスカレーターが設置されバリアフリー化する。また、ホームへの階段の壁面は、旧レンガトンネルの調査結果を活かし、レンガ調とする。
- ・平成31年度から新駅舎の建築工事に入り、平成33年春に開業する予定である。

(2) 駅前広場の整備方針（案）について（事務局からの報告）

地元のまちづくり団体や身障者団体、交通事業者や交通管理者等からの

- ・北方面の利用者が多いので送迎車両が利用しやすい駅前広場にしてほしい。
- ・バス乗降場はなるべく1ヶ所にまとめてほしい。
- ・南側にバス乗降場を集約し、南側の活性化につなげてほしい。

等の意見を踏まえ、前回の検討会で提案したバス乗降場を北側と南側に配置する
とした整備方針（案）を次のとおり修正した。

折尾駅を中心とした新たな「おりお」の拠点形成をけん引する

「安全で、わかりやすく、使い勝手の良い交通空間」

「ゆとりや賑わいを創出する交流空間」として、

バス・タクシー・一般車の乗降場、歩行者スペース、修景施設等を有する
南北の駅前広場を整備する。

(1) 駅の利用や交通実態等を踏まえ、

- ・南側は、バスの乗降場が集約されたわかりやすい交通広場
- ・北側は、主に一般車とタクシーが利用する送迎のしやすい交通広場
とし、「安全で、わかりやすく、使い勝手の良い交通空間」を実現する。

(2) 「ゆとりや賑わいを創出する交流空間」として、

- ・イベントを通じたまちの活性化
- ・学生や近隣住民等が憩える場の提供
- ・学園都市の名にふさわしい、豊かな景観形成によるまちのイメージの向上
に寄与する交流・シンボル広場とする。

今回の検討会での意見も踏まえ、今後、この整備方針（案）に沿って施設の
配置やデザイン、活用方針について検討することとしたい。

9 会議の経過

(1) 新駅舎の設計について

- 駅舎の柱について、材質や形状等の確認があった。
- トイレについて、車いすを使う方にとって、使いやすい場所にあるのか女性利用者を男性が介助する場合でも入りやすい形になっているのか等の位置や形状の確認があった。

(2) 駅前広場の整備方針（案）について

- 北九州市は、高齢者が増えており、雨天の降車時に傘をさそうとしてケガをすることもあるようなので、シェルターが連続するように配慮してほしい。
- バスを南側に集約した場合、バスのルートによっては距離が長くなると思うが混雑する折尾四丁目交差点で右左折がない分、合理的であることが分かった。
- バスを南側に集約したことで市民にとって分かりやすくなったと思う。
- 折尾駅は駅舎がシンボルであるので、駅舎と駅前広場が一体となったオリジナリティがある駅前広場になるような工夫の可能性があると思う。
- 利用者が迷わないように、サイン等の工夫をしっかりとしてほしい。
- 身障者用乗降場があまりに便利だと、一般の人が使用する。一般の人が止めにくいといったような配慮をお願いしたい。
- シェルターも景観上とても重要なので、折尾駅に合うデザインにしてほしい等。

10 問い合わせ先 建築都市局折尾総合整備事務所 計画課 事業調整係
電話番号 093 - 602 - 3108